

行 動 計 画 （4 期目）

次世代育成支援対策に取り組む企業として、「仕事と家庭の両立支援」の更なる充実を図り、従業員全員がより一層能力を発揮できる環境の整備のために、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間

平成 27 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までの 5 年間

2. 内容（目標と対策）

目標 1：男性の子育て目的の休暇の取得促進

（対策）

- 平成 27 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までの 5 年間
制度の内容を検討し周知を図ると共に、利用促進の環境整備を整える

目標 2：育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備を整える

（対策）

- 平成 27 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までの 5 年間
男性の育児休業取得を促進する
育児休業に関する規定の整備、労働者の育児休業中における待遇改善及び育児休業後の労働条件に関する事項についての周知

一般事業主行動計画策定・変更届

届出年月日 平成 27 年 3 月 1 日

都道府県労働局長 殿

一般事業主の氏名又は名称 医療法人社団幸信会
 （法人の場合）代表者の氏名 理事長 山口信一郎 印
 住 所 〒5270039
 滋賀県東近江市青葉町 1-46
 電 話 番 号 0727-22-5000

一般事業主行動計画を（策定・変更）したので、次世代育成支援対策推進法第 12 条第 1 項・第 4 項）の規定に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1. 常時雇用する労働者の数 214 人 (うち有規契約労働者 2 人)
 男性労働者数 56 人・女性労働者数 158 人
2. 一般事業主行動計画を（策定・変更）した日 平成 27 年 3 月 1 日
3. 変更した場合の変更内容
 - ① 一般事業主行動計画の計画期間
 - ② 目標又は次世代育成支援対策の内容（既に都道府県労働局長に届け出た一般事業主行動計画策定・変更届の事項に変更を及ぼすような場合に限る。）
 - ③ その他
4. 一般事業主行動計画の計画期間 平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 27 年 3 月 31 日
5. 規定整備の状況
 - ① 有期契約労働者も対象に含めた育児休業制度 (有・無)
 - ② 有期契約労働者も対象に含めたその他の両立支援制度 (有・無)
6. 一般行動計画を外部へ公表した日又は公表予定日 平成 27 年 3 月 1 日
7. 一般事業主行動計画の公表の方法
 - ① インターネットの利用（両立支援ひろば・自社のホームページ）その他 ()
 - ② その他の公表方法 ()
8. 一般事業主行動計画の労働者への周知の方法
 - ① 事業所内の見やすい場所への掲示又は備え付け
 - ② 書面による労働者への交付
 - ③ 電子メールによる送信
 - ④ その他の周知方法 ()
9. 次世代育成支援対策の内容（第三面に記載すること）
10. 次世代育成支援対策推進法第 13 条に基づく認定（くるみん認定）の申請をする予定 (有・無・未定)
11. 次世代育成支援対策推進法第 15 条の 2 に基づく特例認定（7 プラチナくるみん認定）の申請をする予定 (有・無・未定)

一般事業主行動計画の担当部局名	管理部
ふりがな 担当者	おがわ まさゆき 小川 正行

行動計画策定 指針の事項		次世代育成支援対策の内容として定めた事項
1 雇用環境の整備に関する事項	(1) 子育てを行う労働者等の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇	ア 妊娠中や出産後の女性労働者の健康の確保について、労働者に対する制度の周知や情報提供及び相談体制の整備の実施
		イ 男性の子育て目的の父親の休暇の取得の促進
		ウ 育児・介護休業法の育児休業制度を上回る期間、回数等の休業制度の実施
		エ 育児休業を取得しやすく、職場復帰しやすい環境の整備として次のいずれか一つ以上の措置の実施 (ア) 男性の育児休業取得を促進するための措置の実施 (イ) 育児休業に関する規定の整備、労働者の育児休業中における待遇及び育児休業後の労働条件に関する事項についての周知 (ウ) 育児休業期間中の代替要員の確保や業務内容、業務体制の見直し (エ) 育児休業をしている労働者の職業能力の開発及び向上のための情報提供 (オ) 育児休業後における原職又は原職相当職への復帰のための業務内容や業務体制の見直し
		オ 子どもを育てる労働者が利用できる次のいずれか一つ以上の措置の実施 (ア) 三歳以上の子を養育する労働者に対する所定外労働の免除 (イ) 三歳以上の子を養育する労働者に対する短時間勤務制度 (ウ) フレックスタイム制度 (エ) 始業・終業時刻の繰上げ又は繰下げの制度
		カ 子どもを育てる労働者が利用できる事業所内保育施設の設置及び運営
		キ 子どもを育てる労働者が子育てのためのサービスを利用する際に要する費用の援助の措置の実施
		ク 労働者が子どもの看護のための休暇について、時間単位で取得できる等より利用しやすい制度の導入
		ケ 希望する労働者に対する勤務地、担当業務の限定制度の実施
		コ 子育てを行う労働者の社宅への入居に関する配慮、子育てのために必要な費用の貸付けの実施など子育てをしながら働く労働者に配慮した措置の実施
		サ 育児・介護休業法に基づく育児休業等、雇用保険法に基づく育児休業給付、労働基準法に基づく産前産後休業など諸制度の周知
		シ 出産や子育てによる退職者についての再雇用制度の実施
		ス 出産や子育てによる退職者についての再雇用制度の実施
		(2) 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備
	イ 年次有給休暇の取得の促進のための措置の実施	
	ウ 短時間正社員制度の導入・定着	
	エ 在宅勤務等の場所・時間にとらわれない働き方の導入	
	オ 職場優先の意識や固定的な性別役割分担意識の是正のための情報提供・研修の実施	
	その他 (概要を記載すること)	
	2 1以外の次世代育成支援対策に関する事項	(1) 託児室・授乳コーナーや乳幼児と一緒に利用できるトイレの設置等の整備や商店街の空き店舗等を活用した託児施設等各種の子育て支援サービスの場の提供
(2) 地域において子どもの健全育成のための活動等を行うNPO等への労働者の参加を支援するなど、子ども・子育てに関する地域貢献活動の実施		
(3) 子どもが保護者である労働者の働いているところを見ることができ「子ども参観日」の実施		
(4) 労働者が子どもとの交流の時間を確保し、家庭の教育力の向上を図るため、企業内において家庭教育講座等を地域の教育委員会等と連携して開設する等の取組の実施		
(5) 若年者に対するインターンシップ等の就業体験機会の提供、トライアル雇用等を通じた雇入れ又は職業訓練の推進		
その他 (概要を記載すること)		